



～タイトル「玉燈」によせて～

「玉」は立派なものに磨きあげる、「燈」は教え、照らすを表し、「子どもへの愛育」と「情熱に満ち溢れる教師道」をイメージしています。また、「玉燈」は、郷土の先人 國友一貫斎の代表的発明品としても知られています。

## 犬を飼う

長浜市教育委員会事務局  
教育部長 大音 洋

2年前の5月に犬を飼いだした。生後2か月の白いシェパード犬で既に11キロにもなっていたので、まるで白熊の赤ん坊みたいだった。黒い鼻先とつぶらな瞳が愛くるしく、どこに行くにも付いてくる。抱きしめるとふわふわで乾燥したわらの匂いがした。生まれた家で親や兄弟と幸せに安心して暮らしていたところを突然引き離して連れて帰ってきたので心が痛んだが、その分この犬がさみしくないよう、良い環境で暮らせるよう、できるだけの事をしようと思った。

自分の子どもがいつの間にか大人になり、子離れをしなければいけない時期だった。親の干渉は子どもの生きづらさにつながると考え、犬を飼うことにしたのだが、子育てが終わってしまった寂しさを埋めてくれた。飼い主にとって愛犬は我が子同然で、私もたちまちのうちに立派な親バカになり、第2の子育てが始まった。

そして現在35キロのでかい犬に成長。かなり食費がかかる・・毎朝夕の散歩は土砂降りの雨の中であっても行かねばならないが、しつけができておらず、突然引っ張ったりするので膝や腰が痛い。また、暑さに弱いため常時エアコンを効かせた室内で飼っているの、フローリングは爪で傷だらけ、テーブルやいすも噛まれてボロボロで客人に来てもらうのは憚られる住環境だ・・。でも、いろいろあっても心は満たされている。

犬は家族(=群れ)の一人ひとりの表情や感情に非常に敏感だ。つらい時や憤りを感じているとき、犬はこちらをじっと見つめて“どうしたのか”と聞いているように感じる。泣いていると涙を舐めに来るくらいだ。こちらが笑ってとうれしそうな顔をして、しきり

に遊びに誘う。大切な家族が仲良くしていると安心してソファでくつろいでいる。

日頃の生活の中で感情的になり、家人に大きな声をだしてしまった時などは、犬はすごく悲しそうな眼をして、すすり泣く部屋との隅のケージに逃げ込んでしまい出てこない。あ～しまったと反省。“もう怒っていないから”と声をかけると恐る恐る出てくる。家族の誰かが怒っていたり、不機嫌でいたりすると本当につらい気持ちになるのだということがよくわかる。

また、何度も執拗にお手をさせられたり、お預けを食らったりするとイライラしてくるのがわかる。犬は飼い主の指示に的確に応えられ、褒められた時は喜びを感じるようだが、過剰なしつけや芸の教え込みは大きなストレスと不安を与えるらしい。しつけと称して叱られてばかりでは犬も自信を持ってないし、人との信頼関係は築けないだろう。人の子も犬の子も褒めて育てるのが基本だ。

そうしたことから、しつけはほどほどでいいと割り切っている。よって前述のとおり散歩中も言うことを聞いてくれず、ぐいぐい引っ張るのであるが・・。

犬を飼ってから、かつての自分の子育てについて振り返ることが多い。子どもの前で母親に怒鳴ったこともよくあった。運動会の練習だと言って、無理やり走り込みをさせて泣かせたりもした。子どもの時のつらい体験は大人になってもずっと残ってしまう。今更ながらではあるが子どもに申し訳なかったと、ひどく反省している次第である。

## 令和7年度 長浜市教育研究

学び続ける教職員に～年間4研修以上の研修で、資質向上を目指します～

### 指定 研修

## 令和7年度 教育研究発表大会

実施日：令和8年2月10日(火) 午後

講師：石井 英真 氏

(京都大学 大学院教育学研究科准教授)

会場：浅井文化ホール・所属校

集合研修・ライブ配信・アーカイブ配信

## 校種別授業改善研修

### 小学校

実施日：令和7年7月25日(金) 13:30～15:30

講師：水戸部 修治 氏 (京都女子大学 教授)

会場：浅井文化ホール

### 中学校

実施日：令和7年8月22日(金) 13:30～15:30

講師：柳内 祐樹 氏 (滋賀県教育委員会)

会場：虎姫文化ホール

### 選択 研修

#### 長浜市教育センター

- ・公開授業 (園・小・中・義 全39講座)
- ・道德教育研修 ・授業改善研修 ・特別支援研修
- ・動画作成研修 ・フィールドワーク など全27講座

#### 滋賀県総合教育センター/ 全国の研修 (Plantより)

- ・専門教科研修 ・学校組織マネジメント研修
- ・自己啓発研修 ・スキルアップ研修など多数

## 令和7年度 長浜市教育賞応募募について

日々の教育実践を見つめ直し、成長につなげる挑戦をしましょう！  
たくさんのご応募をお待ちしております。

- 3部門
- ① 学校・園実践部門 【個人・グループ】教育論文
  - ② 個人実践部門【個人のみ (年齢制限なし)】教育論文
  - ③ ユース部門【36歳未満】ミニ論文





## 令和7年度 長浜市教育研究

教育センターでは、本年度も保育・教育活動の充実に向けて研究を実施します

### 概要① 自分の考えを表現する力を高める国語科の授業づくり（2年次）

#### ■令和6年度の成果■

研究始期と研究終期の研究協力員の学級・学年の児童・生徒アンケートの肯定的な回答を比較すると、「主体的に学び進める力」が向上しました。また、本研究の目標である自分の考えを「表現する力」が向上しました。

| アンケート項目                         | 研究始期 | 研究後期 | 増加   |
|---------------------------------|------|------|------|
| 主体的に学びに向かう児童・生徒の姿               | 81%  | 92%  | +11% |
| 自分で課題を設定し、自己調整しながら学習を進める児童・生徒の姿 | 83%  | 92%  | +9%  |
| 互いの考えを共有し、認め合いながら学び合う児童・生徒の姿    | 95%  | 97%  | +2%  |
| 「話すこと・聞くこと」における自分の考えを表現する力      | 85%  | 96%  | +11% |
| 「読むこと」における自分の考えを表現する力           | 87%  | 90%  | +3%  |

#### ■研究の目標■

国語科の授業において、ICT機器を効果的に活用しながら、必然性のある言語活動を設定することで、主体的に学び進め、自分の考えを「表現する力」の育成を目指す。

#### ■研究の仮説■

国語科の授業において、ICT機器を効果的に活用しながら、必然性のある質の高い言語活動を設定することで、発信・交流の対象が広がり、交流の質が深まり、課題追及への利便性が向上し、試行錯誤しやすくなり、主体的に学び進め、自分の考えを「表現する力」が育成されるだろう。

#### ■長浜市国語科研究アドバイザー■

京都女子大学 発達教育学部 教育学科 教授 水戸部 修治 氏

#### ■研究協力員■

|        |    |        |       |    |       |
|--------|----|--------|-------|----|-------|
| 南中学校   | 教諭 | 美濃部 俊道 | びわ中学校 | 教諭 | 岡崎 隆祥 |
| 永原小学校  | 教諭 | 後藤 弘毅  | 浅井小学校 | 教諭 | 岡 佑香  |
| 北郷里小学校 | 教諭 | 川村 真依子 | 小谷小学校 | 教諭 | 北川 恵里 |
| 長浜小学校  | 教諭 | 北野 真奈  |       |    |       |



5月12日に織田教育長より委嘱状を授与していただき、昨年度の成果や今年度の取組について研究協議を行いました。

今年度の授業研究会に興味のある先生方は右下のQRコードから案内ちらしをご覧ください。Plant全国教員プラットフォームより申し込みください。



2本目の研究は準備ができ次第、ご紹介いたします。  
園児・児童・生徒を対象とした研究を予定しております。



## 発達支援グループからのお知らせ

学校で課題のある児童生徒について把握されましたら、まずは校内支援委員会等で話し合ってください。その上で、教育センター教育相談室へつなぐかどうかを判断してください。依頼を受けましたら、センター内でも協議を行い、検査の必要性も含め、どのように対応していくか等を検討し連絡させていただきます。

### お願い

①検査依頼の際にセンターに提出していただく発達検査依頼書が今年度少し様式が変わっています。再度確認をお願いします。

②本人への検査を受ける前の心の準備を丁寧をお願いします。動揺せず十分に力を発揮することができるよう、個に応じた事前の声かけをお願いします。

③検査返しの際には、検査結果をもとにどのような支援が適切かを一緒に考えていきます。担任の先生だけでなく、特別支援コーディネーター、または管理職の先生に入ってくださいようお願いします。その後、校内支援委員会等で共有し、支援体制を整えたり、個別指導計画に反映させたりしていただき、その支援体制が児童・生徒本人にとって良いものになるようにお取組をお願いします。

主訴

- ・学年相応の学習が難しく、特に算数の文章問題や国語の読み取りに困難が見られる。
- ・友達との関わりが難しく、一人であることが多い。

「主訴」は、「本人の課題となること」です。課題のある中でも困り感が大きいものを2つ程簡潔にまとめてください。  
「本人の実態を把握し支援方策の参考とする」は、主訴とはいえませんのでご注意ください。



## 登校支援グループからのお知らせ

### 体験なないろDAYを実施します！

長浜市教育センター教育相談室は、子どもたちの居場所となるこどもサポートルームを運営しています。長浜市内の小中学生のための教室です。

★6月24日（火）に、体験なないろDAYとして、こどもサポートルーム「あざい」を自由解放します！気軽に好きな時間に見に来てください。



「あざい」の場所は、浅井体育館のとなり（長浜市内保町2682）です。



申込みは  
フォームから！  
または  
TEL 74-3702まで

## 体験なないろDay

**6月24日（火）**

**9:30～12:00**

**13:00～15:30**



<https://forms.gle/hB6qLKK7LBbnLT97>